

法人（事業所）理念	学校に適應できる力を育てていきます。			
	「できた」「みつけた」「楽しい」「一緒に」の4つのキーワードを基軸に支援を行います。			
	お子さまと保護者の方に寄り添います。			
支援方針	1. 自主性と成長の支援	遊びや生活を通じて、子どもの自主性を育みます。		
	2. 身体・感覚発達促進	遊びや運動で、身体のバランスと協調性を高めます。		
	3. 社会性と対人スキルの向上	集団活動や地域交流を通じて、対人スキルを育てます。		
	4. 家族・地域との連携支援	家族相談と地域資源の活用を通じて、安定した生活をサポートします。		
	5. 職員のスキルアップ	研修と情報共有で職員の専門性を高め、質の高い支援を提供します。		
営業時間	(平日) 10:30~18:30	(祝・休日) 9:30~17:30	送迎実施の有無	あり
5領域／4つの基本的活動	自立支援と日常生活の充実のための活動	体験的な活動や遊び	地域交流の機会の提供	こどもが主体的な参画できる機会の提供
健康・生活	衛生習慣や基本的な身辺自立を身につけ、生活スキルを高める。	簡単な調理ごっこや当番活動で役割を体験し、生活スキルを伸ばす。	保護者と一緒に地域の専門家から健康習慣を学ぶ。	簡単な係やお手伝いを通して自己効用感を育てる。
運動・感覚	ボール遊びやリズム遊びを通して、バランス感覚や身体の動きを養う。	サーキット遊びやハンモックで身体を動かし、感覚を育てる。	地域の公園や散策を通して体力づくりをする。	教室内のイベントで役割を担い、達成感を得る。
認知・行動	生活の流れを分かりやすく示し、簡単なルーティンを身につける。	パズルや積み木遊びなどを通して、考える力を養う。	買い物ごっこなどを通して日常生活に役立つ経験を積む。	活動の選択肢を示し、自分で選んで取り組む力を育てる。
言語・コミュニケーション	絵本や言葉遊びで表現力を高め、身近な人と楽しくやり取りする。	ごっこ遊びやロールプレイで自然なやり取りを楽しむ。	地域のイベントに参加し、支援者と一緒に他者との交流を楽しむ。	グループ活動で自己表現の場をつくる。
人間関係・社会性	グループ活動や異年齢の子どもの交流を通して協力や役割分担を学ぶ。	集団遊びを通じて、物や場所を共有し、対人スキルを身につける。	公共の場でのマナーを学び、社会性を育てる。	イベントで役割を担い、協力する楽しさを味わう。
家族支援	1. 個別相談	家族の悩みや課題を共有し、解決策を一緒に検討する。		
	2. 保護者様との交流	サービスの透明性を高め、保護者と施設側の相互理解を深めていく。		
	3. 情報提供と連携	最新の支援方法を共有し、地域の専門機関と連携する。		
移行支援	1. 園・学校等との交流	小学校入学準備として、園や小学校との交流を促す。		
	2. 自己決定能力の育成	子どもができる範囲での選択を促し、自分で決める力を支援する。		
	3. 外部支援機関との連携	園や福祉機関と連携し、スムーズな移行を支援する。		
地域連携・地域支援	1. 地域イベントへの参加	地域行事に保護者同伴で参加し、社会経験を積む機会を提供する。		
	2. 地域資源の活用	公共施設や公園を活用し、生活に役立つ体験を提供する。		
	3. 地域貢献の推進	簡単な地域活動を通じて、社会的役割を意識できるよう支援する。		
職員の質の向上	1. 定期的な研修の実施	発達支援に関する最新知識を職員に提供する。		
	2. スーパービジョン	専門家によるフィードバックで、職員のスキル向上を図る。		
	3. チーム内での共有と協力	情報共有を通じて、質の高い支援体制を強化する。		
主な行事等	1. お出掛け	公園、博物館などの公共施設利用、トランポリン等、様々なプログラムを設定する。		
	2. 季節のイベント	食育、制作、遠足など季節に合わせた内容で楽しめる機会を提供する。		
	3. 保護者のリクエストによる	保護者様の要望を踏まえ、行事計画を組み、要望に応えた行事参加の機会を提供する。		
特色ある支援等	1. 専門的な支援(言語聴覚士)	言語聴覚士の専門知識を活かし、言語やコミュニケーション、摂食指導を行う。		
	2. 公共交通機関の利用支援	身近な市内循環バス、名鉄竹鼻線を利用し、公共交通機関の利用を経験する。		